

# 施策 2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくります

**10年後のめざす姿**

空港跡地を中心とする地区が、国際都市にふさわしいにぎわいのある拠点、大田区の産業を世界に発信する拠点として機能しています。

**施策の指標と目標値**

モノサシ(指標)	現 状	25 年度	30 年度
空港跡地の施設を利用したことの区民の割合 (%)	—	—	30%
天空橋駅の年間乗降人員数 (千人)	11,013 千人 (平成 19 年度)	11,100 千人	14,500 千人

**現状と課題**

- 羽田空港の再拡張という好機を活かして、「国際交流都市」づくりへの取り組みを一層進めていくことが必要
- 空港跡地を、大田区にとって様々な観点から有効な土地利用を進めていく必要があり、産業支援及び文化交流施設の整備とともに、親水性を活かした自然空間を創出し、大田区の発展につなげることが求められる



**施策 の方向性と主な事業**

イメージ例：多摩川沿いのプロムナード

出典：羽田空港跡地利用O T A基本プラン

**① 国際化を活用 した文化交流及び産業支援拠点の整備**

- ・ 羽田空港の国際つなげ、空港跡地、人、もの、情報国際交流拠点都市
- ・ 文化による波及効果で大田区の発展に地における交流や産業支援を強化の交流がにぎわいを創出し、活気ある市

**にぎわいのある 国際交流拠点の整備**

- ◇ 国内外の多様な文化圏の相互交流により、にぎわいを創出する施設を整備

**世界へ発信する 産業支援拠点の整備**

- ◇ 区内産業の支援施設を新市場開拓などに寄与する整備

**② 親水性を活かした潤いとやすらぎ空間の創出**

- ・ 多摩川と海老取川に直接面する空港跡地の特性を活かし、区民や国内外からの来訪者が潤いとやすらぎを感じる、水辺空間の整備を推進

**水と緑のふれあいゾーンの整備**

- ◇ 環境との共生をめざし、潤いとやすらぎの空間を整備
- ◇ 地域の防災機能の強化を図る空間としての活用を推進

**③ 空港アクセス機能の強化**

- ・ 羽田空港の利玄関口として
- ・ 既存の鉄道網道路網の整備ネットワーク
- ・ 観光の視点も導入等を検討

**新空港線「蒲蒲線」の整備促進(再掲) 新たな交通システムの整備検討**

イメージ例：歩行者デッキの夕景

出典：羽田空港跡地利用O T A基本プラン

**④ 空港周辺の景観づくり**

- ・ 東京・日本の玄関口としてふさわしい景観づくりのため、多摩川と海老取川、東京湾の水辺空間を活かした空港周辺地域の整備を推進

**次世代につなぐ美しいまちなみづくり**



## 施策2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

### 10年後のめざす姿

交通網の整備と快適な環境づくりが進み、空港を活かした多様な産業の集積拠点となっています。



### 施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現 状	25 年度	30 年度
臨海部に立地する事業所数(社)	1,622社 (平成16年度)	1,650社	1,700社
臨海部が身近になったと感じる区民の割合(%)	—	25%	30%

### 現状と課題

- 臨海部はものづくりの集積拠点、流通業務の拠点、首都圏のゲートウェイとしての機能を担ってきたが、近年は物流関連事業所や産廃処理事業所等の立地が進んでいる
- 臨海部の物流関連事業所を中心に大型車両の交通量が増大
- 羽田空港再拡張に伴う周辺環境の変化を踏まえ、臨海部における土地利用の方向性、交通ネットワークの整備、地域特性を活かした景観形成など、総合的な再編整備を進めていくことが重要



東京湾上空から見た大田区臨海部

## 施策の 方向性と主な事業

### ① 臨海部の 景観づくり

- ・ 臨海部におけるみどりの拠点やレクリエーションの場を創出するための公園を整備
- ・ 内陸部や臨海部の水とみどりの拠点を有機的に結ぶ緑のネットワークとしての散策路を整備
- ・ 海辺の自然と共生し、羽田空港や既存市街地などの都市景観とも連携した景観づくり

**海上公園の移管整備**  
 ◇臨海部にある公園のあり方や整備内容を検討  
 ◇東京都港湾局所管海上公園の移管や再整備を推進

### 海辺の散策路整備

◇臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、水とみどりの拠点整備や散策路整備を検討



国内外の都市を結ぶ 羽田空港



大森ふるさとの浜辺公園

### ② 臨海部土地 利用の誘導

- ・ 臨海部における隣接する立地方向性を示す
  - ・ 将来構想に基づいた新しい都市の
- る産業のあり方、空港や港湾に特性を活かした土地利用の臨海部の将来構想を策定  
 づいた土地利用の誘導を図り、活力を創出

**空港臨海部将来構想の検討**  
 ◇臨海部の将来土地利用を誘導  
 構想を策定し、構想に基づいた

### ③ 臨海部交通ネットワークの整備

- ・ 拡大する臨海部の交通需要に対応するため、道路網及び公共交通機関の改善や新しい公共交通システムの整備を検討

### 交通ネットワークの検討

◇観光的側面も考慮しながら、道路網、公共交通機関、舟運を含めた新たな交通システムの検討を推進